

名古屋三河道路有識者委員会
第2回

1. 日時 令和5年12月11日（月）10:00～12:00
2. 場所 アイリス愛知 大会議室コスモス
3. 出席委員[敬称略 50音順（委員長を除く）]

なかむら	ひでき	
中村	英樹	名古屋大学大学院環境学研究科 教授（委員長）
おかだ	やすあき	
岡田	恭明	名城大学大学院理工学研究科 教授
かとう	よしと	
加藤	義人	岐阜大学工学部 客員教授
さとう	くみ	
佐藤	久美	名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授
ねもと	けいじ	
根本	恵司	一般社団法人中部経済連合会 常務理事
みずお	えり	
水尾	衣里	名城大学大学院人間学研究科 教授
みちばやし	かつよし	
道林	克禎	名古屋大学大学院環境学研究科 教授
やまだ	えり	
山田	恵里	名古屋市立大学大学院経済学研究科 講師

（欠席）

くらうち	ふみたか	
倉内	文孝	岐阜大学大学院工学研究科 教授
すずき	こうじ	
鈴木	弘司	名古屋工業大学大学院工学研究科 教授

議事概要（委員からの主な意見※）

<委員会の規約について>

（事務局より規約の改正について報告）

<第2回構想段階評価>

◆第1回意見聴取の結果

- 道路の利用頻度や目的地などのアンケート結果については、パーソナルトリップ調査や道路交通センサスのデータと比較しておくが良い。
- 事業者向けのアンケートについては、調査結果に偏りが出ないように、発送・回収方法を工夫されたい。

◆対応方針（複数案）の検討

- 良好な自然環境は限られており、守っていく必要がある。
- 各ルート帯案において、いろいろな懸念を持たれると考えられるの

で、今後の市民等への説明段階においては、道路計画のプロセスなどについて丁寧に説明し、理解してもらうのが良い。

- 自動運転を始めとした自動車技術の進展など、新たな視点・項目を加えるべき。
- 「経済性への配慮」では意味が広いため、建設段階のコストを指しているのであれば、誤解の無いよう表現を修正されたい。

◆第2回意見聴取の方法

- 「名古屋港や中部国際空港へのアクセス」の設問では、名古屋港や中部国際空港だけでなく、西三河方面へのアクセス性向上についてもイメージできるように、表現を検討されたい。また、正確でない表現が含まれているため、修正すること。
- 「災害時にも通行ができること」の設問では、災害時に通行する対象車両が不明瞭で誤解を招くので、表現を検討されたい。
- 防災に関する2つの設問は趣旨の違いが分かりづらいので、表現を検討されたい。
- アンケートの設問や参考資料に使う文言は、できるだけ一般の方にも理解しやすい表現を検討されたい。
- 設問の選択肢の付番については、特に意図がないなら1から順に並べた方が良い。
- アンケートの回答結果をいつの段階で公表するかを明示することで、回答者が流れをイメージできると思われる。
- 全ての設問項目について、重要度の差がつかないことが想定されるため、例えば選択できる数を限定するなどにより差をつけるようにしないと、対応方針案を絞り込むうえで困難になるのではないかと。
- 後々の誤解を招かないように、イメージ図の内容については正しく表現すること。
- 若年層の回答が少ないと感じるので、次回調査においては、2次元バーコードを効果的な位置に掲載するなど、回答率が上がるような工夫をされたい。

(※欠席の委員については、個別に意見・助言を確認)